

令和 7 年度オオワシ傷病個体收容結果

表 1 平成 12～令和 7 年度オオワシ傷病個体收容結果（令和 8 年 3 月 31 日時点）

年度	(件)											(羽)			うち 鳥フル
	交通 事故	列車 事故	風車 衝突	不明 衝突	感電 事故	鉛中毒	鉛暴露	落水	栄養 不良	その他	不明	死体	生体	收容個 体数	
平成12	1					12				1	4	9	9	18	
13				1	2	7			1	1	4	9	7	16	
14		1		4	1	5		2		1	2	11	5	16	
15				3	2	9			2	1	2	12	7	19	
16	4			1	5	8			3	2	3	14	10	24	
17	3			1	4	1				2		9	2	11	
18	3	3			2	2	1		4	4	1	9	8	17	
19		3		2		8			2			7	8	15	
20		1			2	7					7	14	2	16	
21	3		1	5		1		1			2	5	8	13	
22	2	2			2	2				1		8	1	9	
23	2				1	5		1			2	6	5	11	
24	4	1			1	2	1	1	1	1	1	6	6	12	
25	2	4		3	4	2		1	1	1	6	10	14	24	
26	1			2	2	3			2		3	7	6	13	
27	2	7		1	1	2	4	2		1	2	12	10	22	
28	3	5		1	3	3	1		1	1	6	16	8	24	
29		11	1	4	4	1	1	1	2	2	2	18	9	27	
30	4	9	1		1	2	2	1	3	2	8	26	6	32	
令和元	2	12		1	1					2	7	21	4	25	
2	2	10		1	1	2		1	1	2	5	14	10	24	
3	1	12			2	1			1	3	9	25	4	29	3
4	1	6	1		2					1	10	18	3	21	1
5	1	10	1	2	2	1				1	4	17	5	22	1
6	5	27		2	7						11	43	9	52	1
7	1	10	1	2	4	1					6	22	3	25	
計	47	134	5	36	56	87	10	11	24	30	107	368	169	537	6

※1 表中のデータは原因分析のためのデータが比較的そろっている平成12年度からとした。

※2 各原因別の收容件数の合計が收容個体数を上回る年があるが、これは複数の原因が考えられる收容個体が存在することによる。

※3 「鉛中毒」は血中鉛濃度 0.6ppm以上又は肝臓中鉛濃度 2ppm以上、「鉛暴露」は血中鉛濃度 0.1～0.6ppm又は肝臓中鉛濃度 0.2～2ppmであったものを示す。

※4 「その他」には、油汚染、羅網、銃撃、溺死等が含まれる。

※5 「鳥フル」は、收容後の遺伝子検査により高病原性鳥インフルエンザウイルスへの感染が確認されたものを示す。

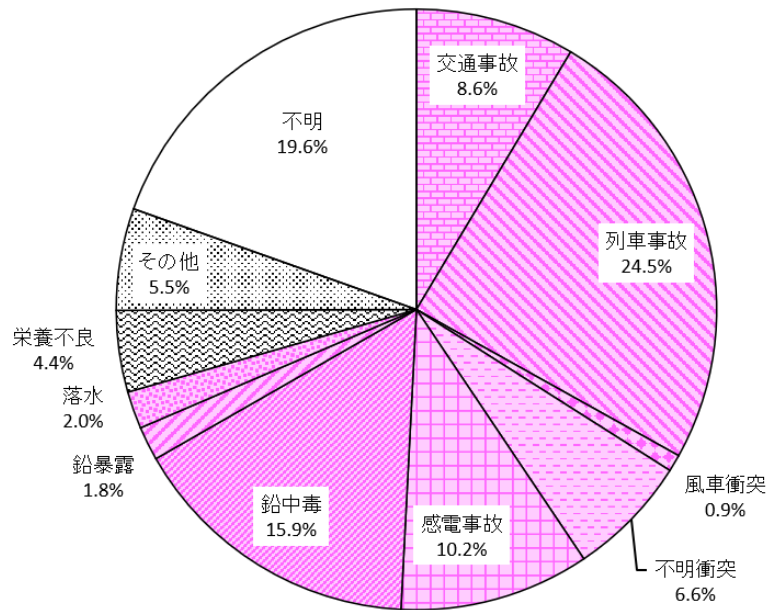


図1 オオワシ収容原因別割合（平成12-令和7年度）
 ピンク色は人為的な要因が関わる収容を示す

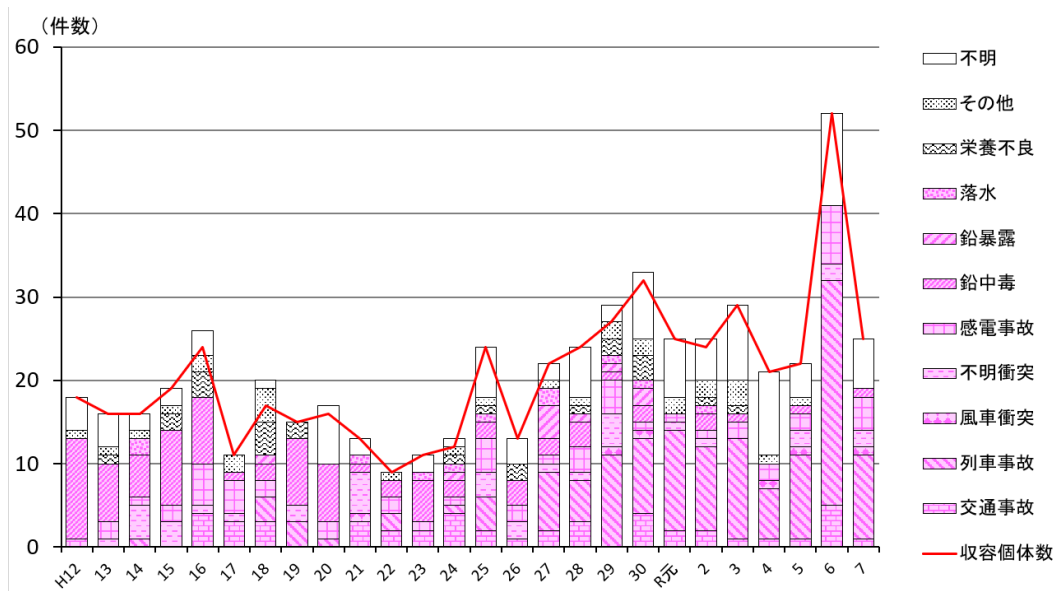


図2 オオワシ年度別収容件数（平成12-令和7年度）
 ピンク色は人為的な要因が関わる収容を示す

※各原因別の収容件数の合計が収容個体数を上回る年があるが、これは複数の原因が考えられる収容個体が存在することによる。